



## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9273 URL <https://www.koashoji-hd.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607  
四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	16,159	7.5	3,276	7.4	3,213	4.7	2,079	4.8
2022年6月期第3四半期	15,036	17.0	3,049	21.1	3,070	21.2	1,983	21.5

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 2,062百万円 (3.3%) 2022年6月期第3四半期 1,996百万円 (22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	52.48	-
2022年6月期第3四半期	50.07	-

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	27,539	20,292	73.7
2022年6月期	26,249	18,665	71.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 20,292百万円 2022年6月期 18,665百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	-	0.00	-	11.00	11.00
2023年6月期	-	0.00	-	-	-
2023年6月期（予想）	-	-	-	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,200	9.1	3,950	3.7	3,950	5.2	2,450	3.8	61.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	39,619,980株	2022年6月期	39,619,980株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	1,356株	2022年6月期	1,356株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	39,618,624株	2022年6月期3Q	39,618,668株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限や入国制限の緩和により徐々に経済活動の正常化が進んだものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料・エネルギー価格の高騰を背景に、世界的金融引き締めにおける為替市場の急激な円安進行など、インフレ拡大や景気後退に対する懸念が広がっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、新型コロナウイルス感染症による当社グループ業績への影響は軽微でありました。円安の影響は原料等の仕入価格が変動するリスクがありますが、原薬販売事業では、必要に応じ為替予約を行うことや、海外サプライヤーへの価格交渉、為替連動型の価格設定への切替等により、医薬品製造販売事業では、量産体制を推進し生産量を増大させること等による生産効率の向上、コスト削減、販売価格の見直し等によりリスク回避に努めております。

医薬品業界におきましては、薬機法違反を起因とする品質面に關わる問題により、ジェネリック医薬品全体で供給不安が発生し、品質や安定供給の信頼性の確保が求められております。

当社グループでは継続して製造管理や品質管理の強化を行っており、医薬品製造販売事業の主力工場では、当期の製造販売承認書と製造実態の齟齬にかかる一斉点検を既に完了させ、グループ各社間における無通告監査(抜き打ちの立入り監査)や、実地調査に赴くことがかなわない海外製造所等のリモート監査についても継続して実施しております。

また、2021年度から2年に1度の薬価改定に加え、中間年においても改定を行う毎年薬価改定が実施され、2023年3月3日に厚生労働省より公表された「令和5年度薬価基準改定の概要について」の中で2022年度における薬価と市場実勢価格との平均乖離率は約7.0%、乖離率を投与形態別に見ると、内用薬8.2%、注射薬5.0%、外用薬8.0%、歯科用薬剤△4.3%と報告がなされました。また、今年度改定では、急激な原材料費の高騰や安定供給問題等に対応するため、1,100品目を対象に不採算品再算定が適用され、当社グループの製品も数品目が対象となりました。

当社グループの医薬品製造販売事業の特徴である注射剤においては市場実勢価格との乖離率は低く、中でもジェネリック医薬品への置換えが比較的進んでいない高薬理活性注射剤製造に注力するとともに、一層の生産性向上に努めております。その一環として、今後さらなる需要拡大が見込まれる製品を増産し、安定供給体制を整備するために蔵王工場の敷地内に医薬品倉庫を新設することを決定いたしました。医薬品倉庫の建設により、原材料の安定在庫の確保及び製造製品の増加など生産能力の強化を図り、安定供給体制を向上させることで医薬品製造販売事業のさらなる事業拡大を目指してまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高16,159百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益3,276百万円(前年同期比7.4%増)、経常利益3,213百万円(前年同期比4.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,079百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### 原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、新規採用品目の伸長等により、循環器官用薬や腫瘍用薬、抗生物質製剤向け原薬の販売が増加し、中枢神経系用薬向け原薬の販売が減少したものの、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,545百万円(前年同期比6.5%増)、セグメント利益は2,026百万円(前年同期比13.4%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高1,369百万円(前年同期比3.8%減)を含んでおります。

#### 医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、受託製造の主力製品のうち増産体制の構築を進めていた注射剤において、当該製品のジェネリック医薬品シェア伸長による数量増加や販売価格の見直し等により堅調に推移し、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,983百万円(前年同期比6.4%増)となりました。セグメント利益は円安や燃料価格高騰による原材料や水道光熱費等のコスト増加があったものの、売上高の増加に伴う利益の増加や、増産や収率向上による生産性の改善等で利益確保に努めたことにより、1,234百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

総資産は27,539百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,289百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加706百万円、商品及び製品の増加681百万円、受取手形及び売掛金の増加169百万円があった一方で、有形固定資産の減少326百万円等があったことによるものであります。

負債は7,247百万円となり、前連結会計年度末に比べ337百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加350百万円、電子記録債務の増加72百万円があった一方で、未払法人税等の減少363百万円、長期借入金

の減少246百万円、未払費用を始めとしたその他流動負債の減少188百万円等があったことによるものであります。

純資産は20,292百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,626百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,079百万円の計上による増加があった一方、配当金支払による減少435百万円等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より2.6ポイント増加し、73.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2022年8月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,123,370	9,830,206
受取手形及び売掛金	3,662,466	3,831,934
電子記録債権	4,169,136	4,224,050
商品及び製品	1,505,144	2,186,616
仕掛品	400,428	463,511
原材料及び貯蔵品	384,702	424,642
その他	160,572	84,747
流動資産合計	19,405,821	21,045,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,853,376	4,881,009
減価償却累計額	△2,144,793	△2,291,496
建物及び構築物 (純額)	2,708,583	2,589,513
機械装置及び運搬具	3,714,364	3,796,054
減価償却累計額	△1,910,485	△2,168,749
機械装置及び運搬具 (純額)	1,803,878	1,627,304
工具、器具及び備品	1,252,664	1,310,225
減価償却累計額	△1,032,481	△1,073,850
工具、器具及び備品 (純額)	220,182	236,375
土地	1,761,774	1,761,774
建設仮勘定	48,723	1,678
有形固定資産合計	6,543,142	6,216,645
無形固定資産		
その他	52,740	38,911
無形固定資産合計	52,740	38,911
投資その他の資産		
投資有価証券	63,731	56,663
繰延税金資産	138,633	137,367
退職給付に係る資産	34,262	28,119
その他	11,602	15,977
投資その他の資産合計	248,229	238,128
固定資産合計	6,844,113	6,493,686
資産合計	26,249,934	27,539,394

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,464,164	1,814,462
電子記録債務	658,864	731,532
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	349,904	349,904
未払法人税等	809,405	445,926
賞与引当金	48,224	85,946
その他	757,440	569,215
流動負債合計	4,938,004	4,846,987
固定負債		
長期借入金	2,291,192	2,044,240
繰延税金負債	6,311	5,140
役員退職慰労引当金	124,588	134,209
退職給付に係る負債	120,339	131,764
その他	103,666	84,689
固定負債合計	2,646,098	2,400,044
負債合計	7,584,102	7,247,031
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	522,277	522,277
資本剰余金	205,828	205,828
利益剰余金	17,920,673	19,564,028
自己株式	△407	△407
株主資本合計	18,648,371	20,291,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,990	12,039
繰延ヘッジ損益	1,469	△11,403
その他の包括利益累計額合計	17,460	635
純資産合計	18,665,832	20,292,362
負債純資産合計	26,249,934	27,539,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	15,036,396	16,159,005
売上原価	10,506,604	11,358,602
売上総利益	4,529,792	4,800,402
販売費及び一般管理費	1,480,227	1,524,274
営業利益	3,049,564	3,276,128
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,386	1,844
為替差益	48,032	—
受取手数料	11,617	12,436
補助金収入	2,566	—
受取補償金	460	7,162
販売権譲渡益	15,181	—
その他	3,396	4,866
営業外収益合計	83,642	26,310
営業外費用		
支払利息	8,960	5,751
投資有価証券評価損	—	3,071
為替差損	—	55,990
和解金	16,000	—
自主回収関連費用	36,266	13,127
その他	1,376	10,606
営業外費用合計	62,604	88,546
経常利益	3,070,602	3,213,891
税金等調整前四半期純利益	3,070,602	3,213,891
法人税、住民税及び事業税	1,077,911	1,125,972
法人税等調整額	8,883	8,759
法人税等合計	1,086,794	1,134,732
四半期純利益	1,983,807	2,079,159
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,983,807	2,079,159



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,983,807	2,079,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,795	△3,951
繰延ヘッジ損益	17,277	△12,873
その他の包括利益合計	12,481	△16,824
四半期包括利益	1,996,288	2,062,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,996,288	2,062,335

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

当社グループは、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的であるとの仮定をもとに、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループの経営成績への影響については軽微であり、会計上の見積りへの影響も軽微であると考えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	9,413,305	5,623,091	15,036,396	—	15,036,396
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,413,305	5,623,091	15,036,396	—	15,036,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,423,261	—	1,423,261	△1,423,261	—
計	10,836,567	5,623,091	16,459,658	△1,423,261	15,036,396
セグメント利益	1,786,306	1,224,920	3,011,226	38,337	3,049,564

(注) 1. セグメント利益の調整額38,337千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	10,175,731	5,983,273	16,159,005	—	16,159,005
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,175,731	5,983,273	16,159,005	—	16,159,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,369,885	—	1,369,885	△1,369,885	—
計	11,545,616	5,983,273	17,528,890	△1,369,885	16,159,005
セグメント利益	2,026,088	1,234,068	3,260,157	15,970	3,276,128

(注) 1. セグメント利益の調整額15,970千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。